

北山エリアを考える

府大学生 有志の会

「学生利用が基本」は本当か？



A brief outline of the plan

アリーナ建設

京都府によって大学の体育館が1万人（全校学生の5倍）が入れるアリーナに変わる。計画書によると、学生がメインアリーナを使用すること自体が想定されていないようだ。

一方で現体育館の耐震性は危険な状態であることも確かだ。耐震指標（※裏面参照）では最低ランクに位置し、「地震で倒壊・崩壊する危険性が高い」と評価される。

2023年3月時点で建設費は175億円の見通し。騒音や観客の移動経路が懸念され、現時点で学生本位の体育館を求める署名は約1万筆にも上っている。

京都府はアリーナについて「学生の授業や課外活動での利用を基本にする」と公言しているが、これは本当だろうか？

What's the problem?

土日の 利用制限

この計画では、学生の体育館利用は少なくとも70日制限される見通し。現在土日に体育館を使っているクラブ・サークルはどこへ行くのか。活動日数を減らすか、外部施設へ移動することを余儀なくされるだろう。

クラブの活動拠
点が無くなる？

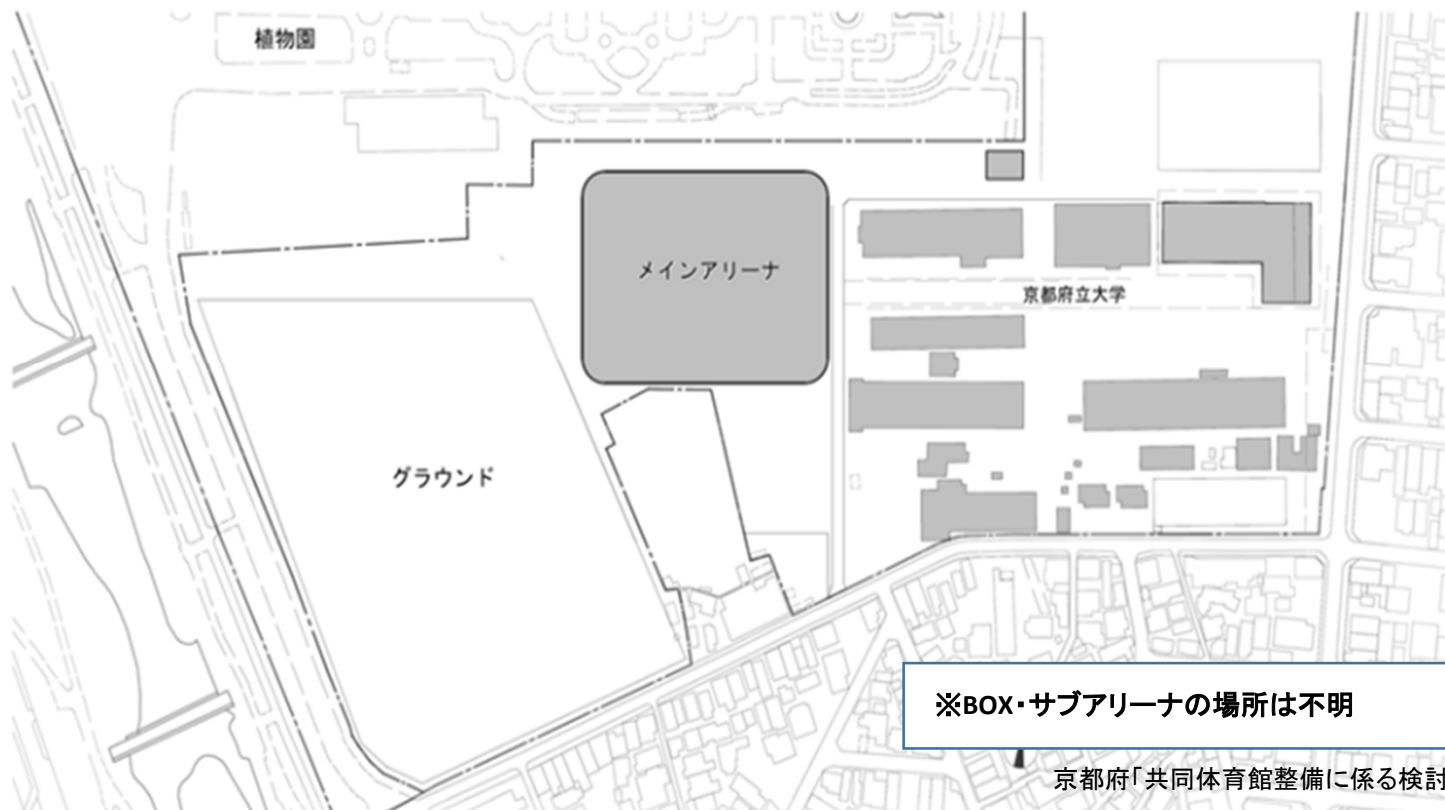
アリーナを建てるには広大な敷地が必要だ。現在クラブ・サークルの拠点となっているクラブボックス街はアリーナが建つことで取り壊されてしまう。

メイン
アリーナは
使用不可？

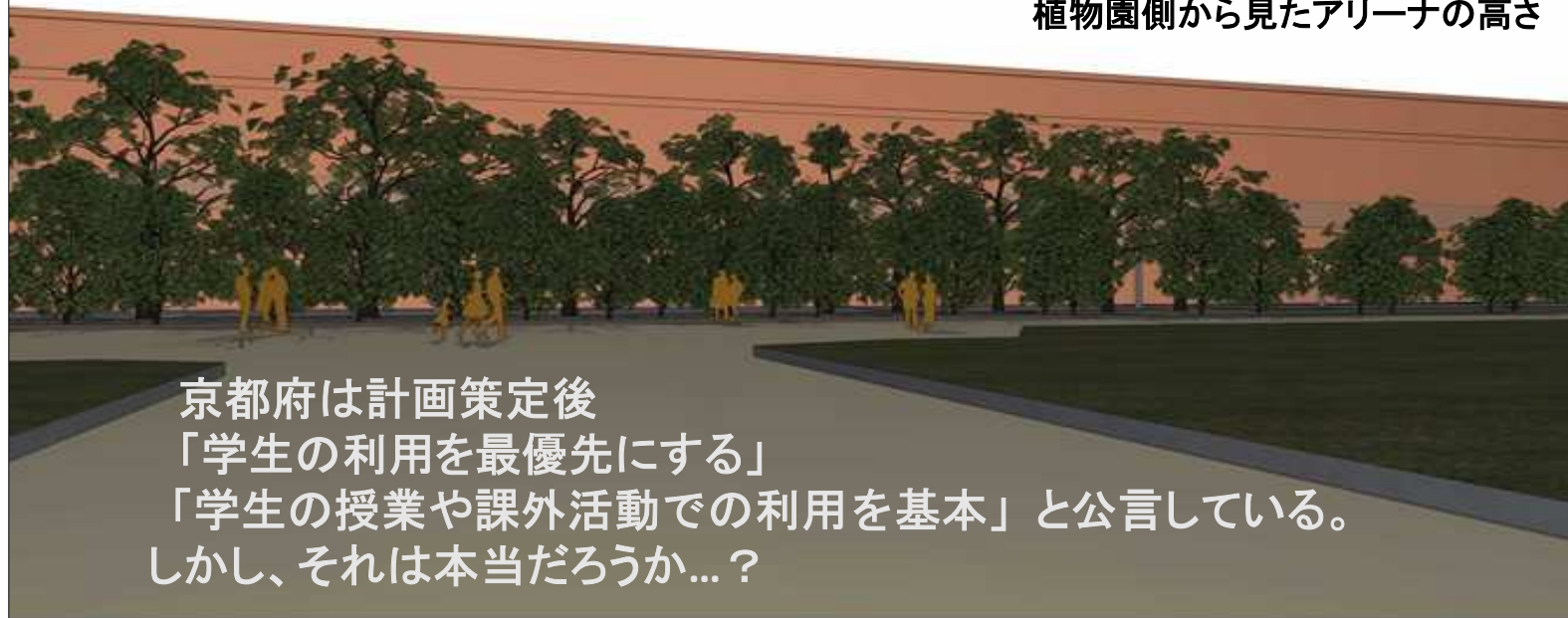
メインアリーナは観る施設。計画書によると国際会議や全国規模の試合で使用するそう。学生は隣にあるサブアリーナしか使えなくなるかもしれない。

How does Kyoto Prefectural University change?

参考：配置イメージ



植物園側から見たアリーナの高さ



京都府は計画策定後
「学生の利用を最優先にする」
「学生の授業や課外活動での利用を基本」と公言している。
しかし、それは本当だろうか...？

京都府立植物園整備計画の見直しを求める会HP (2023/3/13更新)
京都府議会令和4年2月定例会

共同体育館は2022年3月10日「共同体育館整備に係る検討資料」に基づき作成
サブアリーナは2020年12月「北山エリア整備基本計画」に基づき作成

耐震指標(Is値)...0に近づくほど危険

- $Is \geq 0.6$: 地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が低い(震度6程度に耐えられる。文科省が推奨するレベル。)
- $0.6 > Is \geq 0.3$: 地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性がある(合同講義棟・2・3・5・7号館が該当)
- $0.3 > Is$: 地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性が高い(体育館は0.07)